

第3章 国際化のための施設・機能

1 新潟空港

(1) 沿革

新潟空港は、昭和 5(1930)年に新潟市営飛行場として開設されて以来、日本海側の空の窓口として着実に発展してきた。平成 10(1998)年には、それまでの 4 つの国際定期航空路（ハバロフスク、ソウル、イルクーツク、ウラジオストク）に加えて、上海（/西安）線、ハルビン線、グアム線、ホノルル線が相次いで開設されたほか、令和元(2019)年 10 月には、香港との季節定期便が就航した。現在、国際定期航空路は、ソウル線、上海線、ハルビン線、台北線の 4 路線が就航しており、日本海側の拠点空港として、重要な役割を担っている。

図 3-1-1 新潟空港位置



(2) 空港施設の概要

面積	199ha
滑走路	A 1,314m × 45m (方位 04 - 22) B 2,500m × 45m (" 10 - 28)
誘導路	3,672m
エプロン	10 バース (小型機用 4、中型機用 3、大型機用 3)
駐車場	収容台数 1,345 台
新潟空港 C I Q (税関、出入国管理、検疫) 庁舎等	
税関 (東京税関新潟税関支署新潟空港出張所)	
入管 (東京出入国在留管理局新潟出張所)	
検疫 (新潟検疫所新潟空港出張所)	
植防 (横浜植物防疫所新潟支所新潟空港分室)	
動検 (動物検疫所新潟空港出張所)	
警察 (新潟東警察署新潟空港警備派出所)	
保税蔵置場	832 m ²
冷凍庫	1 台 1 m ³
冷蔵庫	1 台 30 m ³
燻蒸庫	1 機 28 m ³

新潟空港の国際機能強化の目的で、平成元(1989)年度から B 滑走路の 2,500m 延長計画が実施に移され、平成 8(1996)年 3 月 28 日から供用開始された。また、新・新潟空港旅客ターミナルビルは平成 8(1996)年 7 月 11 日から営業開始となった。

(3) 定期航空路の状況等

現在、4つの国際定期航空路が開設されているほか、8つの国内航空路が開かれている。

(表3-1-2、図3-1-3参照)

表3-1-2 定期航空路の開設状況

(国際線)

(令和7(2025)年4月現在)

路線	航空会社	航空機型式	便数(往復)	所要時間	備考
ソウル	大韓航空 日本航空	B737 (173席)	3/週	120分	共同運航
上海	中国東方航空 日本航空	A319 (120席)	2/週	180分	共同運航
ハルビン	中国南方航空	A320 (165席)	1/週	135分	運休中
台北	タイガーエア台湾	A320 (180席)	2/週	205分	
ハバロフスク	-	-	-	-	7~8月チャーター運航
ウラジオストク	-	-	-	-	7~8月チャーター運航

図3-1-3 定期航空路線網

(令和7(2025)年4月現在)



(4) 国際線の旅客実績

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、すべての定期路線が一時運休していたが、令和6年1月までに順次運航を再開した。

表 3-1-4 新潟空港国際線旅客実績の推移

(単位：人、%)

開設年度 路線名		平27 (2015)	平28 (2016)	平29 (2017)	平30 (2018)	令元 (2019)	令2 (2020)	令3 (2021)	令4 (2022)	令5 (2023)	令6 (2024)
ソウル (昭和54(1979)年12月)	定期	56,693	48,225	41,102	41,935	31,381				14,433	37,521
	臨時		272								
	計	56,693	48,497	41,102	41,935	31,381	0	0	0	14,433	37,521
	前年比	84.0%	85.5%	84.8%	102.0%	74.8%	0.0%	- %	- %	- %	260.0%
上海 (平成10(1998)年3月)	定期	15,139	15,265	15,393	18,248	15,164				8,196	16,178
	臨時										
	計	15,139	15,265	15,393	18,248	15,164	0	0	0	8,196	16,178
	前年比	123.7%	100.8%	100.8%	118.5%	83.1%	0.0%	- %	- %	- %	197.4%
ハルビン (平成10(1998)年6月)	定期	46,431	29,985	24,451	38,904	38,731				1,817	8,532
	臨時	669	4,051								
	計	47,100	34,036	24,451	38,904	38,731	0	0	0	1,817	8,532
	前年比	133.1%	72.3%	71.8%	159.1%	99.6%	0.0%	- %	- %	- %	469.6%
台北 (平成25(2013)年1月)	定期		9,139	29,635	35,688	15,094			6,502	27,936	32,148
	臨時										
	計		9,139	29,635	35,688	15,094	0	0	6,502	27,936	32,148
	前年比			324.3%	120.4%	42.3%	0.0%	- %	- %	429.7%	115.1%
香港 (冬季定期便) (令和元(2019)年10月)	定期					13,195					
	臨時										
	計					13,195					
	前年比					-					
合 計	定期	118,263	102,614	110,581	134,775	113,565				52,382	94,379
	臨時	669	4,323								
	チャーター	7,929	6,278	1,921	1,545	5,904			23	612	713
	計	126,861	113,215	112,502	136,320	119,469	0	0	6,525	52,994	95,092
	前年比	96.2%	89.2%	99.4%	121.2%	87.6%	0.0%	- %	- %	812.2%	179.4%

2 新潟港を中心とした港湾

(1) 県内港湾の状況

県内には国際拠点港湾である新潟港を始め、重要港湾3港、地方港湾6港の計10の港があり、そのうち外貿取扱港は新潟、直江津、柏崎及び姫川の4港となっている。外国貿易でみると貿易量全体のうち約65%を新潟港が占めている。

図3-1-5 県内の港湾



(2) 新潟港のあらまし

新潟港は、古くから海上交通の要衝として、また後背地域の産業基盤として重要な役割を果たしており、昭和42(1967)年には日本海側初の特定重要港湾(現在は国際拠点港湾)に指定され、平成7(1995)年には日本海側唯一の中核国際港湾に位置付けられた。

また、平成23(2011)年には日本海側拠点港(総合的拠点港及び機能別拠点港(国際海上コンテナ、その他貨物(LNG)(直江津港との連名)))に選定され、今後、中国・韓国・ロシアなど対岸諸国の経済発展を取り込みながら発展していくことが期待される。

現在、新潟港は西港区と東港区の2つの拠点により構成されている。西港区は信濃川を利用した河口港であり、東港区は海岸の砂丘地を掘削して築港された掘込港湾である。

・新潟港西港区

西港区は古くからの新潟港の歴史を受け継いで外内貿流通港湾として発達し、着実に整備が進められ、平成5(1993)年には中央地区に国際旅客ターミナルビルが完成している。

また、平成15(2003)年、国際交流拠点として世界へアピールしていくために、万代島地区において国際会議場などのコンベンション複合施設「朱鷺メッセ」が整備された。

・新潟港東港区

日本経済の高度成長に伴い、新潟においても臨海工業地帯の造成計画が芽ばえ、その門戸となる東港開発計画が策定された。そして、昭和39(1964)年2月、新潟地域は新産業都市の指定を受け、東港区は地域産業発展の中核として整備されることとなり、防波堤の建設、中央水路の掘込み、水深13m岸壁の築造が進められ、昭和44(1969)年に開港した。

現在、東港区には、電力、石油等エネルギー関連をはじめ多くの企業が立地しており、工業地帯を形成している(全体面積1,533.2ha、うち工業用地905.5ha)。

(3) 新潟港の国際機能の強化

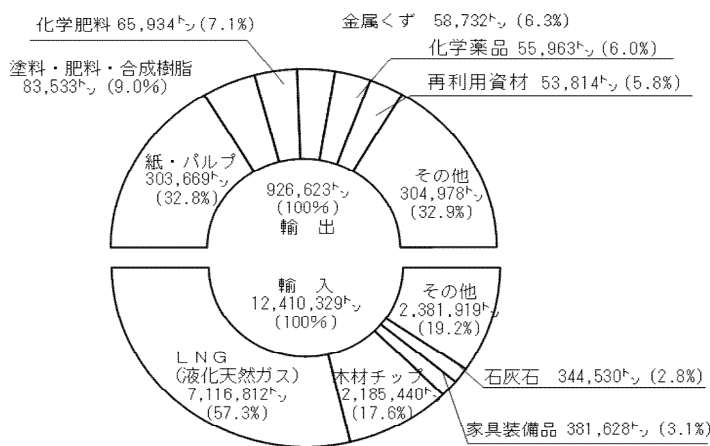
新潟港は、平成 23(2011)年に日本海側拠点港に選定され、この機能を高めることにより、国際物流の増大と本県経済の活性化を図ることとしている。平成 10(1998)年 4 月には新潟 F A Z 第一期基盤施設として、定温燻蒸庫が完成しており、近年では、対岸諸国や東南アジア地域との経済交流の活発化や船型の大型化、コンテナ化等に対応して、東港区において大型船舶用バースの供用が開始されるなど、外貿コンテナターミナルの施設整備を進めている。また、平成 26(2014)年 4 月には、東港区の外貿コンテナターミナルにおいて、港湾運営会社制度を導入しており、荷主サービスの向上を図っている。

さらに、県内荷主企業等により構成される「(一社)新潟港振興協会」、新潟市及び港湾運営会社とともに、官民一体となった外貿コンテナ定期航路の誘致や荷主の開拓などポートセールスを積極的に展開している。

(4) 貿易取扱量

新潟港の外国貿易の取扱量は令和 6 (2024) 年は 13,336,952 トンと前年比 14.1%増となっている。輸出と輸入の区別で見ると輸出が 926,623 トン、輸入が 12,410,329 トンと輸入量が輸出を上回っている。

図 3-1-6 輸出入貨物品種取扱状況(令和 6(2024)年 新潟港)



(5) 国際コンテナ定期航路の現況

釜山航路が週 3 便、中国・釜山航路が週 4 便、中国航路が週 2 便など、アジアへの輸送網が充実している。表 3-1-8 参照)令和 6(2024)年のコンテナ取扱量(実入り)は、前年比 1.1%増の 113,490TEU (輸出 2.0%減、輸入 2.7%増)となった。

本県では、県内や隣接県の荷主企業のニーズをもとに新規航路の誘致及び既存航路の拡充につとめ、使い勝手のよい港づくりに取り組んでいる。

表 3-1-7 新潟港コンテナ取扱状況(実入り)

(単位:TEU)

航路名	合計	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	前年比 (%)
中国・釜山	輸出	40,398	45,803	39,225	40,077	41,821	34,808	38,344	37,591	98.0
	輸入	82,231	83,806	89,031	85,509	83,338	76,460	73,887	75,899	102.7
	合計	122,629	129,609	128,256	125,586	125,159	111,268	112,231	113,490	101.1
合計	輸出	40,398	45,803	39,225	40,077	41,821	34,808	38,344	37,591	98.0
	輸入	82,231	83,806	89,031	85,509	83,338	76,460	73,887	75,899	102.7
	合計	122,629	129,609	128,256	125,586	125,159	111,268	112,231	113,490	101.1

第3章

表 3-1-8 新潟港外貿定期コンテナ航路の概要

令和7(2025)年4月1日現在

航路名 船社名(総代理店)	配船日	寄港地(曜日)	運航船舶(TEU)	代理店
釜山航路				
Xプレスフィーダーズ (ヘスコ・エージェンシーズ) H30.9	週1便 (日)	新潟(日)-秋田-富山-金沢-釜山新港(木・金)-(新潟)	SCO SHANGHAI(707)	リンコー
シノコー (シノコー成本) R3.8(R5.4改編)	週1便 (木)	新潟(木)-釜山(土)-釜山新港(日)-直江津-秋田-(新潟)	ATLANTIC SOUTH(704)	東洋 (富士関連)
シノコー (シノコー成本) R3.2(R5.12改編)	週1便 (水)	新潟(水)-富山-金沢-浜田-釜山新港(日)-釜山(月)-玉湊(火)-釜山(水)-玉湊(木)-光陽(金)-釜山(日)-釜山新港(月)-(新潟)	VOSTOCHNY VOYAGER(698) OSAKA VOYAGAER(698)	東洋 (富士関連)
中国・釜山航路				
天敬海運 (CKマリタイム) H19.10(H29.7改編) 高麗海運 (高麗海運ジャパン) H25.7	週1便 (土)	新潟(土)-富山-直江津-蔚山(水)-釜山(水)-釜山新港(水)-天津新港(土)-大連(日)-浦項(水)-釜山(水・木)-(新潟)	SKY FLOWER(1,009) SUNNY CLOVER (1,000)	日通 日通
天敬海運 (CKマリタイム) 汎洲海運 (アジアコーポリス) R2.8	週1便 (火)	新潟(火)-富山-金沢-蔚山(土)-釜山(土)-光陽(日)-寧波(火・水)-上海(水・木)-釜山(土・日)-(新潟)	SKY MOON(1,009) PANCON SUNSHINE(1,056)	日通 リンコー港運
高麗海運 (高麗海運ジャパン) 南星海運 (南星海運ジャパン) R5.10	週1便 (木)	新潟(木)-秋田-苫小牧-八戸-仙台-常陸那珂-釜山新港(日)-釜山(日)-蔚山(火)-光陽(水)-青島(金)-大連(日)-釜山(火)-(新潟)	SUNNY CANNA (1,000) SUNNY IVY (1,096) STAR EXPRESS (953)	日通 リンコー港運
高麗海運 (高麗海運ジャパン) 南星海運 (南星海運ジャパン) R5.10	週1便 (金)	新潟(金)境港-釜山(火)-蔚山(水)-光陽(水)-天津新港(土)-青島(月)-釜山(水)-清水-小名浜-仙台-釜石-(新潟)	SUNNY CAMELLIA (1,103) SUNNY VIOLET (1,000) STAR CLIPPER (962)	日通 リンコー港運
中国航路				
神原汽船 H7.5(R4.6改編)	週2便 (火・金)	新潟(火)-小樽-上海(月)-金沢-新潟(金)-大連(火)-青島(水)-上海(金)-富山-(新潟)	SUSTAINABLE EARTH(1,091) PROACTIVE EARTH(1,091) HARMONIZED EARTH(1,091)	リンコー

(6) 姉妹港との交流

ア ロシア ウラジオストク商業港との交流

(ア) 姉妹港協定の締結（平成4(1992)年度～）

平成4(1992)年11月に、新潟港とウラジオストク商業港との間で締結した姉妹港協定に基づき、姉妹港フェアを相互に実施した。

(イ) 新姉妹港協定の締結（平成12(2000)年度～）

平成12(2000)年7月に、新潟港・ウラジオストク商業港にウラジオストク港務局を加えた3者による新姉妹港協定を締結し、代表団の派遣等を実施した。

イ 中国大連港との交流

友好合作協議書の調印（平成8(1996)年度～）

平成8(1996)年6月に、新潟港と大連港との友好交流・経済交流を促進するため、新潟において、「新潟港・大連港友好合作協議書」に調印した。

この協議書に基づいて、友好代表団等の相互派遣を実施した。友好代表団の派遣・受入に当たって、港湾セミナー、写真展等を開催した。

ウ 韓国釜山港との交流

物流協力に関する了解覚書の締結（平成20(2008)年）

平成20(2008)年11月27日に、新潟港は日本の港としては初めて、世界第5位の取扱量を誇りアジア有数のハブ港である韓国釜山港と「新潟県・釜山港湾公社間物流協力に関する了解覚書（MOU=Memorandum Of Understanding）」を締結した。

この覚書では、両港を経由する貨物の最終目的地までの輸送時間短縮や輸送コストの削減等について協力することで合意し、両港の関係強化とサービス改善を図っている。

(7) 直江津港の概要

直江津港の令和6(2024)年の外国貿易取扱量は6,306,552トンで、前年比4.7%減となっている。また、国際定期コンテナ航路は、釜山航路が週1便、中国・釜山航路が週1便就航しており、令和6(2024)年のコンテナ取扱量（実入り）は、前年比5.8%増の19,149TEU（輸出10.9%増、輸入4.5%増）となった。県では、上越市や直江津港湾協会と協力しながらポートセールス活動を展開している。

表3-1-9 直江津港コンテナ取扱状況(実入り)

(単位：TEU)

航路名	合計	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	前年比 (%)
中国・釜山	輸出	7,156	6,733	6,970	6,776	5,415	4,552	3,728	4,134	110.9
	輸入	14,171	15,713	17,848	16,096	14,300	13,525	14,367	15,015	104.5
	合計	21,327	22,446	24,818	22,872	19,715	18,077	18,095	19,149	105.8
合計	輸出	7,156	6,733	6,970	6,776	5,415	4,552	3,728	4,134	110.9
	輸入	14,171	15,713	17,848	16,096	14,300	13,525	14,367	15,015	104.5
	合計	21,327	22,446	24,818	22,872	19,715	18,077	18,095	19,149	105.8

表 3-1-10 直江津港外貿定期コンテナ航路の概要

令和7(2025)年4月1日現在

航路名 船社名(総代理店)	配船日	寄港地(曜日)	運航船舶(TEU)	代理店
釜山航路				
長錦商船 (シノコー成本) R3.8	週1便 (火)	直江津(火)-秋田-新潟-釜山(日)-釜山新港(日)- (直江津)	ATLANTIC SOUTH (704)	海陸
中国・釜山航路				
天敬海運 (CKマリタイム) H19.10 高麗海運 (高麗海運ジャパン) H25.7	週1便 (月)	直江津(月)-蔚山(水)-釜山(水)-釜山新港(水・木)- 天津新港(土・日)-大連(日・月)-浦項(水)-釜山(水・ 木)-新潟-富山-(直江津)	SKY FLOWER(1,009) SUNNY CLOVER(1,000)	日通 日通

(8) クルーズ船誘致の推進

平成 24(2012)年度より、地域振興や経済活性化に資するクルーズ船の県内港への寄港促進のため、船社等に対する訪問セールスやキーパーソンの招聘、海外見本市出展等のプロモーション活動を行うとともに、地元自治体と連携し寄港時の歓送迎対応を実施している。

表 3-1-11 県内港へのクルーズ船の寄港回数

令和 8(2026)年 3月 4日時点

	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (H31/R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
回数	15回	18回	22回	25回	0回	1回	11回	21回	18回	28回
新潟	7回	8回	13回	14回	0回	0回	7回	13回	8回	21回
佐渡	8回	9回	9回	11回	0回	1回	4回	8回	10回	6回
直江津	-	1回	-	-	-	-	-	-	-	1回

2025年は予定

新潟は、新潟西港、新潟東港の寄港数の合計

佐渡は、両津港、二見港、小木港の寄港数の合計

3 朱鷺メッセ

(1) 沿革

新潟港西港区の万代島地区は、新潟港の中でも中心市街地に最も近接した地区であり、その立地特性を最大限に生かした地域発展の中心的役割を担っていくことが期待されている。

万代島再開発事業は、来るべき「日本海大交流時代」の到来に向けて、新潟県が日本海側における国際交流拠点と賑わいのある港湾空間の形成を目指すものとして進められた。

施設全体の愛称を「朱鷺メッセ」とし、平成 15(2003)年 5月にオープンした。

図 3-1-12 朱鷺メッセ位置図



(2) 施設の機能

万代島地区には、コンベンション機能を十分に発揮するため、万代島全体の施設をコンベンションコンプレックスとして位置付け、県が国際会議場、国際展示場を複合一体化した新潟コンベンションセンター（以下、「コンベンションセンター」という。）を整備し、業務施設及びホテル（以下、「ホテル・業務施設」という。）については、それぞれの民間参画事業主体が合築方式により整備した。（愛称：「朱鷺メッセ」）なお、それぞれの施設は次の機能を有している。

表 3-1-13

施設名	主な機能
1 コンベンションセンター	(1) 国際交流機能 全国的・国際的な学術会議・大会等の開催により、国際レベルの文化・人的交流を推進する。 (2) 貿易・産業振興機能 大規模な見本市・展示会等の開催により、国際的レベルの物流・企業交流を推進する。 (3) 文化振興・賑わい機能 文化イベント、興業イベント等の開催により、県民の文化基盤の向上と交流の新たな場を提供する。
2 業務施設	(1) 業務・貿易支援機能 国際的な流通・情報等を介した地域経済活性化のための民間業務機能、貿易関連機能 (2) 国際交流・支援機能 民間国際交流活動支援機能 旅券発給機能、調査研究機能 (3) 飲食機能、生活利便機能 (4) 文化振興・賑わい機能 文化振興、賑わい創出のための美術館、展望室を設置
3 ホテル	(1) 宿泊機能 (2) コンベンション活動支援機能等
4 緑地等	憩い、賑わい機能 楽しめるウォーターフロントと公園的な環境の創造を図る （親水緑地、多目的広場）

(3) 建築施設の内容（平成15(2003)年5月1日開業）

表 3-1-14

施設名称（主な施設内容）	
公 的 施 設	コンベンションセンター 国際会議場 メインホール …… 約 1,000席（シアター形式） 国際会議室 …… 約 500席（シアター形式） 1室 中会議室 …… 約 200席（スクール形式） 3室 小会議室 …… 8室
	国際展示場 展示ホール …… 約 10,000人（シアター形式） 商談控室等
	アトリウム 総合エントランス
	ホテル・業務施設 展望室：（31F、床面高さ 地上約125m） ホテル： 客室203室（22F～29F）、スカイバンケット（30F）、 宴会場・式場（4F）、フロント（3F） オフィス：（6F～20F） （公財）にいがた産業創造機構（NICO） 駐新潟大韓民国総領事館、在新潟ロシア連邦総領事館ほか 新潟県立万代島美術館（5F） 新潟県パスポートセンター（2F） （公財）新潟県国際交流協会（2F） 駐車場（1F）

(4) 施設配置

図 3-1-15



(5) 姉妹提携

平成14(2002)年10月に韓国のコンベンション施設であるCOEXと「朱鷺メッセ」が姉妹提携を結んだ。

(6) 国際化の総合センター

朱鷺メッセでは、新潟外国領事館をはじめ、（公財）新潟県国際交流協会、県パスポートセンターなどの国際化に関連した機関等が集積されており、「国際化の総合センター」として当県の国際交流の拠点となっている。

《国際交流関連施設》

- 1 新潟外国領事館
韓国、ロシアの総領事館が設置されており、国際交流等に大きな役割を果たしている。
- 2 （公財）新潟県国際交流協会
施設名を「新潟県国際交流プラザ」とし、国際化を総合的に推進する中心的な役割を果たすべく、国際情報ライブラリーの運営など、県民の国際活動への支援を行っている。
- 3 県パスポートセンター

《国際会議等の開催》

- ・ 2008年G8労働大臣会合 (平成20(2008)年5月11日～13日)
- ・ 第21回国連軍縮会議 in 新潟 (平成21(2009)年8月26日～28日)
- ・ 2010年日本APEC新潟食料安全保障担当大臣会合 (平成22(2010)年10月16日～17日)
- ・ 世界農業者機構(WFO)第3回総会 (平成25(2013)年4月13日～17日)
- ・ 第11回日ASEAN次官級交通政策会合 (平成25(2013)年6月24日～25日)
- ・ 2016年G7農業大臣会合 (平成28(2016)年4月23日～24日)
- ・ 2019年G20農業大臣会合 (令和元(2019)年5月11日～12日)
- ・ 世界錦鯉サミット (令和4(2022)年11月6日)
- ・ 2023年G7財務大臣・中央銀行総裁会議 (令和5(2023)年5月11日～13日)

4 その他の国際交流関係施設等

(1) 国際交流会館等

県内の国際交流を目的とした施設としては、新潟市の朱鷺メッセ内に(公財)新潟県国際交流協会が管理運営する新潟県国際交流プラザが平成15(2003)年4月にオープンし、国際交流・協力や留学等に関する資料や雑誌、新聞等を備えた、多くの県民が利用できる施設となっている。

県内には他に、新潟国際友好会館(新潟市)、長岡市国際交流センター「地球広場」(長岡市)、上越国際交流センター(上越市)があり、市民も在住外国人も気軽に来館できる、多様な国際交流活動の拠点となっており、同時に、在住外国人に対する各種の情報提供の場ともなっている。

新潟県国際交流プラザ

所在地：〒950-0078 新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル2階

TEL 025-290-5650 FAX 025-249-8122

開館時間：月～金曜日 9:00～17:30(土・日・祝日及び年末年始は休館)

施設等：各種情報資料(外国に関連した図書・雑誌)

新潟国際友好会館

所在地：〒951-8055 新潟市中央区礎町通3ノ町2086番地(クロスパルにいがた内)

TEL 025-224-2088 FAX 025-223-4572

開館時間：月～土曜日 9:00～21:30

日・祝日 9:00～17:00

(毎月第4月曜日(祝日にあたる場合はその翌日)及び年末年始は休館)

施設等：生涯学習センターとの複合施設

外国人の様々な悩み、心配事に関する相談を受ける相談室、講座室、国際交流・協力団体共同利用室等

長岡市国際交流センター「地球広場」

所在地：〒940-0062 長岡市大手通2-2-6 ながおか市民センター内

TEL 0258-39-2714 FAX 0258-39-2715

開館時間：平日 8:30～19:00(相談受付時間 8:30～17:15)

土・日・祝日 9:00～18:30(" 9:00～17:00)

(年末年始は休館)

施設等：多言語による生活相談・市政情報の提供、図書貸し出し、英字新聞、日本語学習の支援

上越市国際交流センター

所在地：〒943-0821 上越市土橋2554 市民プラザ2階

TEL：025-527-3615 FAX：025-522-8240

開館時間：月～金曜日 9:00～18:00

(土・日・祝日、毎月第3水曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始は休館)

施設等：日本語教室、外国人相談窓口、在住外国人及び市民への情報提供、図書の貸し出し、定期刊行物の閲覧

(2) コンベンション施設・展示施設

ア コンベンション施設

国際都市としての機能を考える際に、国際会議の受入施設が整備されているかどうかという点は重要なポイントである。

コンベンション推進機関としては、新潟市、長岡市、上越市にそれぞれ「(公財)新潟観光コンベンション協会」、「(一社)長岡観光・コンベンション協会」、「(公社)上越観光コンベンション協会」が設立されており、コンベンションの誘致や受入体制の整備に積極的な取り組みを行っている。

新潟市内の500人以上収容可能な代表的施設は以下のとおりである。

この他、県内の各地にも、公的施設を中心としてコンベンション施設が配置されており、今後の国際会議等誘致の流れの中で重要な役割が期待されている。

表 3-1-16 500人以上収容の会議室・ホール・展示場（新潟市内）

名 称	最大収容 人数（人）	会議室・ ホール数
デンカビッグスワンスタジアム	42,300	7
HARD OFF ECOスタジアム新潟	30,000	9
朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）	10,000	14
新潟市産業振興センター	5,500	11
新潟市体育館	4,000	1
万代島多目的広場 大かま	2,800	屋内広場
りゅ〜とぴあ（新潟市民芸術文化会館）	2,000	12
新潟県民会館	1,730	6
新潟テルサ（新潟勤労者総合福祉センター）	1,510	11
新潟市巻文化会館	907	1
新潟市西川多目的ホール	776	1
亀田市民会館	750	5
新潟市北区文化会館	549	7
新潟市民プラザ	540	1
新潟市音楽文化会館	530	14
白根学習館（ラスベックホール）	505	7
A N A クラウンプラザホテル新潟	1,500	14
ホテルイタリア軒	1,200	9
新潟グランドホテル	1,000	9
ホテルオークラ新潟	832	9
新潟東映ホテル	800	7
アートホテル新潟駅前	612	5
ホテル日航新潟	500	5

（（公財）新潟観光コンベンション協会HPから）

イ 展示施設

コンベンション施設と並んで、大規模な国際見本市などを行うための展示施設は、国際化の流れの中で今後一層その需要が高まるものと見込まれ、全国各地で建設が行われている。本県の代表的展示施設としては、以下の施設を挙げることができる。

表 3-1-17 展示面積が2,000㎡以上の展示施設

名称	展示面積	備考
朱鷺メッセ （新潟コンベンションセンター：展示ホール）	7,800㎡	新潟市
新潟市産業振興センター	4,455㎡	新潟市
ハイブ長岡（長岡産業交流会館）	3,481㎡	長岡市

